

研究課題番号	1-1804
研究課題名	放射能汚染地域の生物で利用可能な遺伝的影響評価法の開発
研究実施期間	平成 30 年度～令和 2 年度
研究機関名	福島大学
研究代表者名	兼子 伸吾

1. 委員の指摘及び提言概要

被ばくによる生物（植物）に対する影響について、わかり易く見える化を実現した。形態や塩基配列には変化がなくても、遺伝子発現に変化が認められたことなど、興味深い結果が得られている。福島の植物の突然変異率を定量的に示したという点では、住民への説明等に説得力をもち、評価に値する研究である。しかし、動物も含めた生物全般への遺伝的影響評価の研究のように誤解されるのは好ましくない。限られた植物への影響に限定された研究であることを明記した上で、一般市民が分かりやすい形の知見を正しく得られるように今後アウトリーチに積極的につとめて欲しい。

2. 採点結果

評価ランク：A